報告内容

1) 事業関係
2) 会計報告
3) 人事関係
4) 広報関係
5) 地域交流関係
6) 今後のカタチなど

16/05/26

事業関係

ヘルパーステーションそらいろ
相談支援センター空色

16/05/26

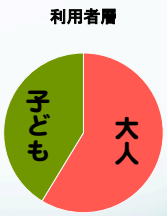
ヘルパーステーションそらいろ

居宅介護、行動援護、移動支援、日中一時支援
法人独自サービス（外出支援）の事業報告

16/05/26

利用者の数

	男	女	合計
おとな	18	9	27
こども	15	4	19
合計	33	13	46

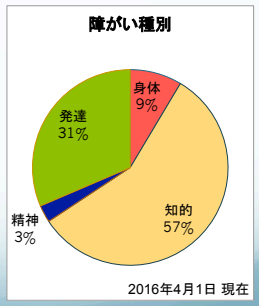


年齢幅：5～71歳（平均30歳）

2016年4月1日 現在

利用者の障がい種別

種別	利用者数
身体障がい	2
知的障がい	13
精神障がい	0
発達障がい	3
知的＋身体	4
知的＋精神	2
知的＋発達	19



2016年4月1日 現在

２０１６年度 職員体制

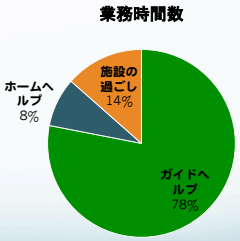
ヘルパーステーションそらいろ

雇用形態	職員数
正職員	3名 （+1）
正職員（嘱託）	1名
パート（非常勤）	1名 （−1）
パート（登録）	5名 （+1）
合計	10名（+1）

16/05/26

支援業務の内訳

＊ ガイドヘルプ
＊ ホームヘルプ
＊ 施設内での過ごし



法人独自サービス（私的福祉）
活動状況

- 利用者数　６名
  →南山城学園 翼　２名
  南山城学園 凛　１名
  あんびしゃ　２名
  児童　１名
- 定期利用の方が増えた。
- 入所施設職員の意識が変わってきており、利用希望者も増えた。

16/05/26

相談支援センター空色

特定相談支援、障害児相談支援の事業報告

16/05/26

2015年度の状況

- 利用者数：４名（計画相談１名、障害児相談３名）
- 相談員数：１名（兼務）
- 昨年度に引き続き１名体制で行う
- モニタリング、計画作成、サービス担当者会議の開催等の事務に追われた。
- 相談支援業務を中心で担う人材が欲しいが、採用活動は積極的にできていない現状。

16/05/26

２０１６年度 職員体制
相談支援センター空色

雇用形態	職員数
正職員（兼務）	1名
合計	1名

16/05/26

会計報告

2015年度 決算
2016年度 予算

16/05/26

決算・予算

- 2015年度 決算書

  →黒字でした。
- 2016年度 予算書

  →正職員１名増加により、人件費が増えています。

  →事務所隣物件解体後の整地等の費用をどうするか？
- 別紙、確認ください。

16/05/26

人事関係

人材育成
人材採用

16/05/26

コンサルティング
８～１２月

- きょうと福祉人材育成認証制度の個別支援メニューを活用し、以下のコンサルティングを受けました。

✧自閉症支援（PECSの取り組み）

（NPO法人 HEROES）

✧人事考課・ライフワークバランス

（エイデル研究所、小澤社労士事務所）

✧人材採用パンフレットの作成

（エイデル研究所）

16/05/26

現在の求人

正職員

- ２０１７年４月採用 予定
- 就職フェアへの出展

→３月１日 （ブース訪問 ６名）

その後、反応なし・・・

６月１９日 出展予定

９月にも出展予定

契約職員・パート

- 随時、採用
- 当法人ホームページ 掲載
- ハローワーク、京都福祉人材センター、カイゴジョブ（パート）へ求人掲載
- 応募者なし・・・

16/05/26

広報関係

寄付金募集事業（京都地域創造基金）
広報紙、ホームページ、SNSなど

16/05/26

寄付金額

- 寄付額は約３５万円
- 寄付者数は13名
- 寄付事業にかかる人件費、事務所費等は通常業務（そらいろ）と重なる為、按分して計算
- 当事業分の決算は右表を参照

別紙 事業完定助成プログラム報告書 _決算書

Ⅱ 収支状況

（１）収入内訳

費目	内訳(公開基金等、名称、事業、個数)	金額（円）
公募補助	本助成の申請金額＝このプログラムで事業費まで使用金額の	255,000
自己負担金	このプログラムの不足分を学校法人の自己予算の内訳を記載してください。	―――
物品寄付入		―――
利用料収入	利用者サービス利用料による収益	20,100
助成金収入	助成金（保護者組合等含む）＝全ての保護者組合・ご家庭・地域サークル、団体入会分の補助	1,099,500
		収入合計 1,474,600

（２）実施の内容

費目	内訳(公開基金等、名称、事業、個数)	金額（円）
―――	本助成金（このプログラムで直接の人事行費、本事業と連携をすでに本日行っていない。	―――
―――	別紙の報告書を参照ください。本助成金分を分けて記載してください。	―――
―――	本プログラムで直接の事行費の内訳(保険料含む、会議、交通行費等を含む)です。	―――
給与支出(一	利用者サービスにかかる職員人件費	1,324,500
―――	（保育士、調理師のようなお仕事）、サービス管理（ケンコー事業所のような仕事）	―――
―――	ケンコー、（事業所）の中で、ちょっと一番時間に出たり（見る）	―――
会議交通費	人型会議に参加するケンコーケンコーの会議参加	4,500
―――	毎年３月頃開ケンコ開催にかかる会議費	―――
会議（研修費	サービス担当者のカウンセリング研修、事業経営	1,400
研修用品費	事業運営のための事業所運営の購入費	66,500
―――	―――	―――
会議用品費	事業運営のための会議のための購入費	35,100
―――	―――	―――
通信運費	サービス利用にかかる電話通信費の通信費、ケンコーのケンコー開発に	20,100
―――	発表にかかる電話費用	―――
会議消費費	事業所使用にかかる電気、ケンコ水道、ガスの使はケンコのケンコ使用	21,100
事務費（家賃	事業所使用にかかる家賃はケンコのケンコ使用	85,500
―――	―――	―――
―――	―――	―――
―――	―――	―――
―――	―――	―――
―――	―――	―――
―――	―――	―――
―――	―――	―――
―――	―――	―――
	実施合計	1,474,600

※収入・実施合計が不足ない場合は加筆してください。

16/05/26

２０１６年度 事業計画

- 寄付金目標額７０万円
- 寄付金募集活動、啓発活動を広げたい
- 城陽市内の福祉関係機関や市民への啓発を進める為、地域イベント等への参加を行いたい

城陽市内の入所施設への見学も行い、施設課題を共有できるよう努めていく

別紙 事業指定取組プログラム申請書_下原書

（１）個人分野

費目	内容及び積算根拠（名称、単価、個数）	金額（円）
地域貢献	高齢者の見守活動ーこのプログラムで事業を支援行政書ー	10000
	（このプログラムの下で高齢者の見守活動の活動の内容を記載してください。	
自治会関係費		
利用料収入	自治会見守ーこの利用料による収金（「訪問型利用料」「利用料」を記ー	700,000
	訪問型利用料700円×1回×2ヶ月=1,400円	
収集運搬収入	収集車（「訪問型自治会見守ーこの収集車サービス」の収入から補助	200,000
	収入合計	1000000

（２）事業の内容

費目	内容及び積算根拠（名称、単価、個数）	金額（円）
事業概要	（このプログラムで集められる事行政）を取り組まれるかたちで、記入してください。	
取組の実施にあたっては、本地域自治会の見守ーこの取組として、記入してください。		
このプログラムで集められる事行政の実施取組状況は、以前、この事行政書を用います。		
給与支払い	自治会見守ーこのこの自治会職員人件費（月額10万円）	
	「行政員（月額20万円）」「ヘルパー（月額15万円）」「ヘルパー（月額15万円）」	1,350,000
	「ヘルパー2（月額10万円）」「ヘルパー（月額15万円）」「ヘルパー（月額15万円）」	350,000
	ーー自治会職員（月額10万円）×2人ーー（月額20万円）	
事業交通費	上記自治会の方々の「ヘルパーステーションの事業」（月額3万円）	
	ーー月額3万円×2回ーー（月額6万円）	72,000
広報活動費	自治会見守ーこの事業のこのカタログ活動費	10,000
広告宣伝費	サービス広報のためのチラシの作成、郵送費用	10,000
事業用品費	事業実施のための事務用品等の購入費（月2000円）	24,000
活動応援	事業実施のための消耗品の購入費（月2000円）	24,000
運搬運営費	サービス利用にこのような収益者等の運搬費（固定・個単電話（月2000円）	24,000
	ーー事業用の通信費電話（インターネット含む）ーー	
	事業にこのような通信費電	10,000
生活応用費	高齢者等用にこのような電熱、上下水道、ガス代等はこのなかで使用	20,000
雑費	その他、必要な実況	30,000
	収入合計	1,600,000

※収入・支出それぞれが足りない場合は加筆してください。

16/05/26

啓発チラシの配布

- 広報誌に同封して配布（２０１５年４月）
- やましろ地域交流フェスティバルにて掲示と配布

- 昨年度より啓発活動に力を入れることはできなかった

16/05/26

広報活動

①インターネット関係

→ホームページ、ブログ、SNS

②広報誌

→ゆうさぽ通信

③地域イベントへの参加

→やましろ地域交流フェスティバル

16/05/26

インターネット

名称	内容	フォロワー等
ホームページ	法人の基礎情報 活動写真、求人情婦など	
ブログ（そらいろ）	ヘルパーステーションそらいろの活動紹介等	
Facebook （ゆうさぽ、そらいろ、空色）	普段のつぶやき、報告	いいね 103、277、208
Twitter （ゆうさぽ、そらいろ、空色）	Facebookと連動	フォロワー 6、447、5
Instagram （ゆうさぽ）	雰囲気の良い写真投稿 Facebookと連動	フォロワー　３７
google+ （そらいろ）	そらいろ大人利用者のガイドヘルプ等の紹介	フォロワー　１１

16/05/26

法人紹介パンフレット 制作

- 利用希望者や地域の方向けに活動紹介を行うツールとして使用
- 採用活動でも活用
- エイデル研究所に作成依頼し、現在、打ち合わせ中

- 表紙の色を悩み中・・・
- 2016年6月には完成予定！

16/05/26

地域交流関係

地域イベントの参加
ボランティア受け入れなど

16/05/26

ボランティア 受入

- ５名（内２名はバーベキュー参加）を受け入れ
- 昨年度に引き続き、子どもに創作活動を教えていただく時間を作っていただきました。→年度後半は来ていただくことがありませんでした。
- 定期的に来られていた方が引っ越されるなど、2016年度ボランティアの数が減ってしまいました。
- 佛教大学のボランティアセンターに登録しましたが、現時点では問い合わせ等はありません。

16/05/26

会員・寄付者・その他

2015年度も多くの方の力添えをいただきました

16/05/26

会員数（2015年度）

種別	会員数	口数	増減
正会員	12名	24口	
賛助会員	14名	33口	新規4名（8口）

法人独自サービス利用者が賛助会員になってもらうことができた。
→サービス利用料の割引適応の条件としているため

16/05/27

今後の目指すカタチ

地域の中の社会資源の一つとして

２０１６年度の課題・目標

- 現状のヘルパー支援を引き継ぎ、安定した体制を作る

→新ヘルパーへの引き継ぎ、個別ケースを深める

- 個々のスタッフのペースに合わせた研修・育成を行う

→計画的に個々の役割に応じた研修を実施

- 城陽地域の福祉に貢献する

→施設入所者への外出支援を広める（法人独自サービス）

- 安定した収益を維持できるように努める

→利用者・サービス提供時間を増やす

16/05/26

事務所の拡大

- 事務所隣の物件を購入（中野個人）
- 解体し、駐車場等として活用することを検討。
- リフォームするには、最低９００万円は必要とのこと。
- 解体費用は１６０万円程度

16/05/26

職員体制
（5年後イメージ）

ヘルパーステーションそらいろ

- 正職員 ３名（サービス提供責任者１名）
- 契約職員・パート ７～８名

相談支援センター空色

- 正職員 １名（専任）
- 契約職員・パート １～２名（ヘルパー兼務）

16/05/26

大切にしたいこと

- 一人一人に合わせた個別の支援
  →強みを生かし、他事業所との差別化（違い）を図る
- 地域の社会資源との関係を大切にする
  →知り合い（つながり）を増やす
- 働きやすい職場環境づくり
  →支援者（人）が資本
- 安定した経営
  →身の丈にあった経営

利用者主体の支援から

- 目の前の利用者（本人）と向き合ことを続けたい
- 一人の支援を地域の関係機関の連携で支え続けていきたい
- 本人主体の支援から、社会資源を創り出していく姿勢を持ち続けたい
- 本人が主体的に支援を選びながら暮らしていけるように